

新居浜高専 平成23年度年度計画及び事業実績

	平成23年度年度計画	年度計画に対応して実施した事業内容
<p>【1. 教育に関する事項】 (1) 入学者の確保(学生募集活動、女子学生確保、入試方法の改善等)</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>① 中学校長会の新規理事校および校長が交代した理事校を校長・副校長が訪問し、教育・入試・進路等の概要を説明する。 ・創立50周年記念事業の実施や報道機関等とおして、積極的に広報を行う。 ・イベントや研修会などの開催案内をホームページに掲載すると共に、ケーブルテレビや記者クラブに情報を発信する。 ・月1回メールマガジンを発行する。学校訪問やイベント等、機会がある毎にメールマガジンへの登録案内を行う。 ・広報推進本部の入試広報担当、イベント担当、広報誌企画担当、ホームページ運営担当、メールマガジン担当が中心となり、入学志願者数が前年度を上回るように、効率的な広報活動を行う。また、中学校の進路情報(動向)を得て、早期の対応を行う。 ② 中学校長、進路指導主事等を対象に地区別学校説明会を開催する。パンフレットを活用し、女子中学生への広報に努める。 ③ 中学生向けの新居浜高専紹介冊子「はばたけ！未来へ」、学校紹介DVD、学校説明会用CDやイベントで配付するリーフレットに就職・進学に関する最新情報を掲載する。また、「はばたけ！未来へ」には卒業生や在校生の情報を載せる。 ④ 昨年度見直した入試方法について、その成果の分析を継続して行う。 ○新たに実施する事項 ② 女子学生の就職先企業の新規開拓に努める。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>① 新規理事校9校と校長が交代した理事校1校を、校長・副校長が6月に訪問し、教育・入試・進路等の概要説明を行った。 ・創立50周年記念事業を、本校ホームページに掲載した。平成23年度は12月10日に佐治晴夫先生(鈴鹿短期大学学長)の記念講演を行った。 ・校内イベントの開催案内をホームページに掲載すると共に、実施概要等を記者クラブ等へも情報を発信した。また、ケーブルテレビにおいて、10月から12月まで入試案内及び学校PRを実施した。 ・メールマガジンの発行も定期的に行い、広報活動の充実に努めるとともに、地域で開催されるイベントにも積極的に参加し、PR活動を行った。 ・広報推進本部では定期的に担当責任者が集まり連携を図った。また、学校説明会及び中学校訪問等を通して、中学校の進路情報を収集した。 ② 愛媛県内4地区で、6月に地区別学校説明会を開催し、参加校は合計40校であった。また、パンフレットを利用し、女子中学生への広報にも努めた。 ③ 夏季体験学習、ものづくりフェスタ、学校見学会等のイベントに参加した中学生とその保護者に、最新の就職・進学情報を掲載したリーフレットを配付した。また、来年度の中学3年生に配付する「はばたけ！未来へ」に、卒業生や在校生の情報を掲載する予定である。 ④ 今年度入学生の成績と過去の学生の成績の比較方法を検討し、今後も継続する事となった。 ○新たに実施する事項 ② 校長、事務部長による企業訪問や学科での企業訪問の際、女子学生の就職について依頼や調査を行った。また、女子学生の採用について、企業側の意見聴取を行った。</p>
<p>(2) 教育課程の編成(学科再編、大括り化・コース制の導入、専攻科の充実等)</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>① 社会の状況変化や地域性を考慮しながら、本校の将来構想を考える。 ② 学科の大括り化やコース制の導入について検討する。 ③ 「学習到達度試験」の結果を教員会等を通じて報告し、FDに役立てる。 ・全学生が受験したTOEICの受験結果を参考に、英語力の向上を図る。 ④ 「勉強アンケート」および「授業アンケート」を継続し、その結果を分析し、学生および教員にフィードバックする。また、本科5年生および専攻科2年生の卒業・修了時に実施した学校評価アンケートの結果を、今後の教育改善に活かす。 ⑤ 機構が主催・共催するすべてのコンテストに参加するとともに、その他の高校生対象コンテスト等にも参加を推奨、支援する。また、学内の「ものづくりコンテスト」を開催する。 ⑥ 新居浜市や社会福祉協議会と連携し、ボランティア機会の周知、推奨を行う。 ○新たに実施する事項 ① 再編した高専の実状について調査を行う。 ④ 機構が実施する卒業生アンケートに関して積極的に協力する。 ⑤ ロボコン四国地区大会を主催する。また、出場が決定した第34回鳥人間コンテスト選手権大会への参加を支援する。 ⑥ 東日本大震災被災地へ車いす等の支援を行う。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①② 「学校改革推進室」の下に設置されている「将来計画検討WG」において高専の高度化に関して検討を継続して行っている。 ③ 学習到達度試験「数学」、「物理」の結果を、各科目の担当教員が分析し、5月、6月の教員会で報告した。 ・全学生が5月にTOEIC IPを受験した。成績の向上が認められる学生が増加しており、授業改善の効果が始まっていると考えられる。また、1、2年生対象のTOEIC Bridge は12月9日、3年生以上のTOEIC IP は12月10日に実施した。 ④ 「授業アンケート(前期分)」は9月に、「勉強アンケート」、「授業アンケート(後期分)」は2月に実施した。今後、それらのアンケート結果を分析し、学生及び教員にフィードバックする予定である。 ⑤ 第34回鳥人間コンテスト、ロボコン四国地区大会、デザコン、第8回高校化学グランドコンテスト、時の甲子園 in 小井川 t-CUP Challenge 等へ参加した。また、プロコン等、機構の開催する全コンテストに参加した。なお、学内ものづくりコンテストは台風のため日程が取れず今年度は中止となったが、来年度は実施する予定である。 ⑥ 新居浜市社会福祉協議会の協力校として登録しており、児童館の夕涼み会などの行事にボランティアとして参加した。 ○新たに実施する事項 ① 四国地区教務主事会議(11月17日・18日開催)において、再編した香川高専の実情について情報収集を行った。 ④ 機構が実施する卒業生アンケートに関して積極的に協力する。 ⑤ 10月23日にロボコン四国地区大会を開催した。また、7月30日、31日の第34回鳥人間コンテスト選手権大会へ参加し、応援団も派遣した。 ⑥ 学生が整備したアルミ製車いす11台を日本社会弘済会を通じ震災被災地へ寄贈した。また、スチール製車いす2台をタイ(サハタイ財団など)へ寄贈した。なお、廃棄自転車12台の整備が終了し、近々被災地に寄贈する予定である。</p>
<p>(3) 優れた教員の確保(採用方針、女性教員採用、他機関との交流、FD等)</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>① 教員の採用については、すべて公募形式で行っているが、更に選考委員会や人事委員会において、優れた教員確保に努める。 ・新規採用教員に対するFD体制を充実させる。 ② 「高専・両技科大間教員交流制度」を活用し、教員の受入・派遣を推進する。 ③ 優れた教員を採用するため、教員採用の公募において、公募条件等を精査する。 ④ 女性教職員からの意見を参考にしながら、環境整備の検討、改善を推進する。 ⑤ 機構が主催する研修会には、必ず1名以上が参加し、また、その結果については、教員会等で報告する。 ・教員の授業参観を、中学校・高等学校との間で相互に実施する。 ⑥ 機構の顕彰制度に加えて、学内顕彰も継続して実施する(優秀教員、優秀担任)。 ⑦ 常勤教員による授業措置等、国内外研究員として参加しやすい環境(支援体制)を充実させる。 ○新たに実施する事項 ① 教員の採用に際し、高専教育に有用な種々の経歴を持つ人材にも留意する。 ④ 教職員の採用・昇任に際し、男女共同参画社会宣言を尊重する。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>① 募集要項に沿った厳正な審査を行い、12名の教員を採用した(うち8名は昇任)。 ・新規採用教員の研修を4月と10月に実施した。 ② 教員交流制度を活用し、平成24年度から2年間、1名の教員を東京工業高等専門学校へ派遣する。 ③ 人事委員会において、各学科の人事計画を参考にしながら全学的立場から教員の公募を進めている。公募の都度、募集要項の精査を行っている。 ④ 学生及び教職員に対し実施したトイレ意識調査を基に現状設備を分析し、既存女子トイレの改修の平成24年度営繕要求を行った。 ⑤ 機構主催の研修会には1名以上の教員が参加し、教員会でその内容を報告した。 ・中学校、高等学校の授業参観の案内をその都度教員に周知し、数名の教員が相互に参加した。 ⑥ 機構の顕彰制度に推薦した。また、それに加えて学内優秀教員についても機構の顕彰に合わせて実施した。 ⑦ 今年度は国内外研究員の派遣や人事交流は実施していないが、来年度は該当者が2名いるため、非常勤の任用と常勤による支援体制を整えた。 ○新たに実施する事項 ① 今年度採用した教員のうち、企業経験者は2名、他高専から1名、海外に居住した経験のある教員は1名を採用し、高専教育に有用な種々の経歴を持つ人材を採用した。 ④ 教員の採用に際し、公募により候補者を募ったが、女性からの応募が少なく、採用に至らなかった。 ・環境材料工学科准教授について、定員枠に空きがなく新たに外部から補充できないため、学内公募により候補者を募り、内規に基づき選考・審査の結果、女性教員1名が昇任した。 ・四国女性教員の育成を応援するために開催された「四国女性研究フォーラム」に、本校の女性教員も参加した。また、3月27日に開催される「2011年度高専女子フォーラム」に、女性教員1名及び女子学生1名が参加し、他高専における取組や成果を確認し、パネルディスカッションに参加する。</p>

新居浜高専 平成23年度年度計画及び事業実績

	平成23年度年度計画	年度計画に対応して実施した事業内容
(4)教育の質の向上・改善(自己点検評価、JABEE認定、共同教育、企業人材の活用等)	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①開発した教材や教育方法については、教員会で紹介すると共に、教科別FD研修会(四国地区高専)での発表や「高専教育」等への投稿を推奨する。</p> <p>・WebClass(自学・自習)やアルク教材(授業、自学自習)の有効活用を図る。</p> <p>・科目間調整連絡会を継続し、専門基礎科目と専門科目の一層の連携を図る。</p> <p>③四国地区高専間の学生会交流や全国高専交流会に参加する。</p> <p>・特色ある教育方法等の情報を、機会ある毎に、メール等により学内に周知する。</p> <p>⑤機関別認証評価の結果を踏まえて、より一層、種々の改善に取り組む。</p> <p>⑥本科4年生および専攻科1年生全員がインターンシップを実施できるよう支援する。</p> <p>・新居浜工業高等専門学校技術振興協会「愛テクフォーラム」に登録されている企業と連携して、現職企業人による講義(経営工学)の充実を図る。また、他のCOOP教育についても実施する。</p> <p>・愛媛大学との包括協定により、非常勤講師の推薦(斡旋)やインターンシップ、ものづくりフェスタの開催などを実施する。</p> <p>⑦新居浜出身の大手企業退職者に非常勤講師として講義を担当してもらう。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>②昨年度のJABEE継続審査において指摘された点への改善に取り組む。</p> <p>④総合データベース「KOALA」で公表された教育実践例や取組例を参考にして、教育方法の改善を促進する。</p> <p>⑥昨年度設置した、「愛テクフォーラム」学生会員制度の充実を図る。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①数理科、一般教養科がそれぞれの科の教育改善について、教員会で紹介した。また、四国地区高専教科別FD研修会で、担当教員が発表を行った。</p> <p>・WebClassは、学生の自学・自習を支援するために、講義の補足説明や演習課題の解説、レポートの提出、連絡事項、アンケート調査、ミニテストなどに活用している。修学状況(アクセス時刻、課題の提出の有無など)をリアルタイムで把握できるので、学習指導に有効である。WebClassへのアクセス時間を、科目、クラス別に集計すると、今年度100時間を超えたものが63件、1000時間を超えたものが8件もあり、勉学意欲の向上が認められた。また、アルク教材については、英語(講義)で一部ノルマ化するなどして、学生の英語力の向上に役立てた。</p> <p>・科目間調整連絡会(英語、数学、物理)を9月に実施した。</p> <p>③3月23日に行われた四国地区学生会交流会に参加した。</p> <p>・月1回開催の教員会で、特色ある教育方法等の情報提供を行った。</p> <p>⑤機関別認証評価の結果を踏まえ、一般科目と専門科目を担当する教員間の連携を図るために、科目間調整連絡会(英語、数学、物理)を9月に実施した。</p> <p>⑥本科4年生及び専攻科1年生全員が、夏季休業中にインターンシップを実施した。専攻科生産工学専攻では新たに1社インターンシップ受け入れ先を開拓し、1か月の実務型シニアインターンシップに13名中9名が参加した。</p> <p>・「愛テクフォーラム」と連携して、講義内容に適した現職企業人に経営工学(5年後期)の講師を依頼している。また、「愛テクフォーラム」の学生会員による学外研修を実施し、報告会を2月29日に行い学生の能力向上に努めた。</p> <p>・本科4年生13名、専攻科1年生1名が愛媛大学でインターンシップを行った。また8月5日、6日に、愛媛大学城北キャンパスにて、小学校高学年、中学生を対象に「ものづくりフェスタ」を開催した。</p> <p>⑦大手機械メーカーを退職された方に、非常勤講師として電子制御工学科の電気機器、電気情報工学科の電気法規の授業を依頼している。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>②JABEE推進室の委員会の下、改善を図っている。7月25日のJABEE推進室会議において、次期審査に向けてワーキンググループの立上げ、科目間調整連絡会の開催等、今年度の活動計画について確認した。</p> <p>④総合データベースの利用が増えるよう、教員会等で案内を行った。</p> <p>⑥ミーティングを定期的に開催し、学生会員を通じて会員企業との連携活動の拡大に努めた。</p>
(5)学生支援・生活支援(メンタルヘルス、生活支援、キャリア教育等)	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①メンタルヘルスに関する講習会には、必ず1名以上が参加し、教員会等で報告し周知を図る。</p> <p>・メンタルヘルスに関する教職員向けの学内研修会を開催する。</p> <p>②学生の図書館利用を推進する。(新入生への図書館利用案内、学生によるブックハンティング、クラス別利用状況の公開と表彰、読書感想文表彰など)</p> <p>③各種奨学金制度(財団法人三浦教育振興財団、財団法人中西奨学会、愛媛県奨学生、公益信託武智義加ものづくり奨学金基金、財団法人関育英奨学会など)については、教室への掲示や担任等を通じて、学生への周知(案内)を行う。</p> <p>④キャリア教育を推進するため、新居浜高専技術振興協会「愛テクフォーラム」を中心とした学生と地域産業界との情報交換の場を設ける。</p> <p>・校内に設置している「キャリア教育プラザ」の有効活用を図る。</p> <p>・企業説明会を継続して開催する。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>①特別支援教育推進室を設置する。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①メンタルヘルスに関する講習会には、必ず1名以上参加した。また、参加した講習会の報告を教員会等で行った。</p> <p>・6月8日に「発達障害に関する基本的知識と特別支援教育のあり方について」、7月21日に「高専生のこころ」、2月14日に「笑いのチカラ」という題目で、教職員向けの講習会を実施した。</p> <p>②新入生への図書館利用案内を4月、5月に実施した。ブックハンティングは、5月28日及び11月12日に実施した。また、クラス別利用状況の公開・表彰及び読書感想文表彰についても実施した。</p> <p>③募集要項が出る都度、学生に対し各担任により説明すると共に、教室に掲示し周知している。その結果、延べ227名の学生が奨学生に採用された。</p> <p>④科学技術特別シンポジウムにおいて、学生の研究成果紹介や地域産業界(会員企業等)との情報交換を実施した。5月～9月の間に愛媛大学から講師を招き、1年生の特別活動の時間を利用し、キャリア教育を行った。また、9月末に企業15社、西条市、新居浜市、四国中央市の職員を迎え、長期インターンシップモデル事業発表会を行った。</p> <p>・キャリア教育プラザに、新居浜工業高等専門学校技術振興協会「愛テクフォーラム」の企業紹介ポスターの掲示や企業紹介パンフレットを整備した。また、常に最新の情報を掲示し、来年度就職予定者に周知するように努めた。</p> <p>・企業説明会を2月7日に実施した。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>①特別支援教育推進室を設置した。車椅子の学生、不登校気味の学生等について、担任、看護師、学生相談室、科目担当教員及び保護者の連携を図った。改善が見られた事例もあった。</p> <p>②男子寮空調用電源工事とクラブハウス新設工事を実施した。</p> <p>・留学生寄宿舎環境の充実として留学生シャワー室の改修を行った。</p> <p>・寄宿舎の男子浴室給湯用ボイラの老朽化が著しく進行したため、エコ給湯システム等の更新に向けコスト試算を開始した。</p> <p>○前年度以前に実施済の事項</p> <p>・平成21年度に営繕事業費及び施設整備費補助金で、図書館の全面改修を実施した。</p>
(6)教育環境の整備・活用(施設マネジメント、教育環境充実、環境配慮、寄宿舎整備等)	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①施設・設備の利用率調査を計画的に実施し、より有効な活用を検討する。</p> <p>・実験施設の安全面等の調査を引き続き行うとともに、地震だけではなく大規模災害等を踏まえ作成したマニュアルの周知徹底を図る。</p> <p>②各実験科目のガイダンス時(初回実験時)に、安全教育を実施する。</p> <p>・学生の校内環境に対する意識調査を実施する。</p> <p>③本校の安全マニュアル(学生版、教職員版)を配布し、有効活用する。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>①老朽化した実習工場等についての予算要求を行う。</p> <p>②クラブハウスを新設する。また、寄宿舎における空調のための電源設備を整備する。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①昨年の利用状況調査の分析を行い、概ね有効利用されていることが確認された。</p> <p>・実験施設の安全面等の調査を引き続き行うと共に、地震だけではなく大規模災害等を踏まえ、平成24年度版のマニュアルを作成中である。</p> <p>②各実験科目の初回ガイダンス時に、安全教育を実施した。</p> <p>・学生及び教職員に対し実施したトイレ意識調査を基に現状設備を分析し、既存女子トイレの改修の平成24年度営繕要求を行った。</p> <p>③本年度版の安全マニュアルを作成・配付し有効活用中である。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>①老朽化した実習工場等について機構本部に要求済みである。</p> <p>②クラブハウスは平成24年2月末に竣工した。また、寄宿舎の電源工事は完了して11月から運転している。</p> <p>③老朽化した照明器具(寮、専攻科棟、電子制御工学科棟、環境材料工学科棟)を高効率照明器具への更新計画を策定した。</p>
【2. 研究に関する事項(外部資金獲得、産学連携、知財管理等)】	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①教員会において科学研究費補助金等の申請の説明および推奨を行う。</p> <p>②年間業績報告書を作成する。</p> <p>・新居浜高専技術振興協会「愛テクフォーラム」と連携して企業との共同研究を推進する。</p> <p>③本校の高度技術教育研究センターが中心となって、研究成果の発表を推奨する。</p> <p>・高度技術教育研究センターが中心となって、教員の研究を支援(奨励)し、その研究成果の知的財産化を推進する。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①10月の教員会において、科学研究費補助金に関する説明を行った。</p> <p>②本年度も引き続き6月に作成した。</p> <p>・「愛テクフォーラム」参加企業との共同研究を推進し、定期総会においても、共同研究の進め方について議論した。</p> <p>③高度技術教育研究センターが中心となって、様々な研究成果発表会への参加を勧めると共に、発表についての推奨も行った。</p> <p>・高度技術教育研究センターが中心となって、教員の研究支援を推進し、研究成果の知的財産化を検討し出願の推進を行った。</p>

新居浜高専 平成23年度年度計画及び事業実績

	平成23年度年度計画	年度計画に対応して実施した事業内容
<p>【3. 社会との連携、国際交流等に関する事項(地域技術者育成への貢献、理科教育支援、卒業生ネットワークの構築、国際交流協定の締結、学生の海外派遣、留学生の受入等)】</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①企業との共同研究を促進しつつ、新居浜高専技術振興協力会「愛テクフォーラム」の充実を図る。 ・地域で推進しているものづくり人材育成事業に積極的に参加する。</p> <p>②産学官連携コーディネーターを活用し、研究の活性化・促進を図る。 ・新居浜高専研究シーズ集、高度技術教育研究センター報の充実を図る。</p> <p>③企業と連携し、学生が講師役を務める出前授業を継続する。 ・小、中学校の理科・技術系教員を対象にした研修会を開催する。</p> <p>④各種イベント等においてもアンケートを実施する。</p> <p>⑤学園祭(国領祭)において、卒業生の集いの場を設ける。 ・本科1、2年生を対象にした「卒業生講話」を継続して実施する。</p> <p>⑥国際交流推進室が中心となって、一層の留学生指導を行うとともに、機構が開催する研究会に参加する。 ・学術交流協定校のザンク로스大学(オーストラリア)での海外研修を引き続き実施する。</p> <p>⑦学生、教員とも海外インターンシップへの参加を推奨する。</p> <p>⑧外国人対象の3年次編入学試験による学生の受け入れに協力する。</p> <p>⑨留学生の研修旅行を実施する。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>②インキュベーションラボラトリーの充実を図る。</p> <p>⑤同窓会と連携して、創立50周年記念事業を企画・立案する。</p> <p>⑥ザンクロス大学からの訪問学生およびノビシルスク市(ロシア)からの青少年派遣団との交流を行う。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①「愛テクフォーラム」参加企業との共同研究を推進し、定期総会においても、共同研究の進め方について議論した。</p> <p>・東予産業創造センターが実施している「プラントメンテナンス技術者育成講座」(7月)と「ものづくり担い手育成事業(機械加工)」(8月)に、本校教員と技術職員が参画し、講師を務めた。</p> <p>②香川高専所属の産学官連携コーディネーターと、本校のコーディネーターが連携して研究の活性化・促進を図った。</p> <p>・新居浜高専研究シーズ集、高度技術教育研究センター報の充実を図った。</p> <p>③企業と連携し、学生が講師を務める出前授業を実施した。</p> <p>・新居浜市教育委員会等と共催し、7月26日に中学校技術教員実技研修会を、8月1日に小・中学校理科教員実技研修会を実施した。</p> <p>④夏季体験学習、ものづくりフェスタ、学校見学会等のイベント参加者にアンケートを実施し、今後の開催に役立てている。</p> <p>⑤11月5、6日の学園祭において、卒業生が集まって思い出や近況を語り合う場として、「集いの広場」を設けた。 ・卒業生講話を11月11日に実施した。</p> <p>⑥新しく入学した留学生を歓迎すると共に、留学生、地域のボランティア団体等との交流を図るために、外国人留学生歓迎交流会を6月16日に開催した。</p> <p>留学生を対象とした「防犯及び交通ルール」に関する講話を実施した。留学生集会を開催し、日本語能力試験の受験、日本語スピーチコンテスト等への参加について案内及び指導を行った。高専機構主催の留学生・国際交流担当者研究集会に参加した。12月12日～16日に留学生ウィークを開催した。中国重慶工業技術学院と教員の長期間の相互派遣について検討を始めた。</p> <p>・ザンクロス大学(オーストラリア)への海外研修を3月に実施した。</p> <p>・留学生寄宿舎環境の充実として留学生シャワー室の改修を行った。</p> <p>⑦学生、教員への海外インターンシップへの参加を推奨した。</p> <p>⑧外国人対象の3年次編入学試験による学生の受け入れに協力した。</p> <p>⑨伊勢、名古屋方面への留学生の研修旅行を10月に実施した。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>②「愛テクフォーラム」と連携し、インキュベーションラボラトリーを充実させるため、スペースの有効利用について検討を行った。</p> <p>⑤50周年記念事業の一環として、同窓会による卒業生募金を実施した。同窓会による記念碑の設置、創立記念日のイベント、ホームカミングデイなどを計画している。</p> <p>⑥ザンクロス大学からは6月16日に教員・学生が13人、7月26日にノビシルスク市からは派遣団7人が来校し本校の教職員及び学生と交流を図った。</p>
<p>【4. 管理運営に関する事項(危機管理体制、教職員の服務監督・健康管理、職員の研修、人事交流等)】</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①-1機構が行う調査に積極的に協力し、得られた情報の学内周知や有効活用を図る。</p> <p>②四国地区校長会において、管理運営に関する情報を交換しながら、その在り方について検討する。 ・該当の研修会には参加する。</p> <p>③事務の効率化・合理化を図るため、本校の「事務マニュアル(案)」「業務手順書(案)」について引き続き検討する。</p> <p>④該当の研修会には参加する。 ・愛媛大学工学部主催の「工学部等技術部技術発表会」など各種研修会に参加する。</p> <p>⑤愛媛大学との人事交流を引き続き、計画的に行う。</p> <p>⑥継続して運営諮問会議(外部評価)における学外委員との意見交換の場を設定し、新居浜高専全般に係る意見を聴取する。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>①-2危機管理体制を整備するとともに、リスク管理室を設置する。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①機構が行う調査に積極的に協力すると共に、得られた情報は学内周知し有効活用を図った。</p> <p>②5月9日、12月17日の四国地区校長会において情報交換を行った。</p> <p>・各種研修会に積極的に教職員を参加させた。</p> <p>③事務の効率化・合理化を図るため、それぞれの業務改善目標に基づき推進した。</p> <p>④個人のスキルアップを図るため可能な限り研修に参加した。 ・8月30日に開催された愛媛大学工学部主催の「工学部等技術部技術発表会」に参加した。</p> <p>⑤愛媛大学との人事交流を引き続き計画的に行うために、定期的に打合せを行った。</p> <p>⑥平成24年1月19日に運営諮問会議を開催し、新居浜高専全般に係る意見を聴取した。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>①-2リスク管理室を設置した。また、マニュアル作成等の危機管理体制の整備を進めている。</p>
<p>【5. 業務運営の効率化に関する事項(一般管理費の縮減、随意契約の見直し等)】</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①機構が発信する情報に基づき、業務の効率化を検討、推進し、目標達成を目指す。</p> <p>②外部資金の獲得を促進する。</p> <p>③業務の外部委託化、業務、事務の合理化、簡素化、契約方法の見直し及び運営経費の縮減に努める。</p> <p>④平成23年度の計画に基づき、施設設備改修等を行う。</p> <p>⑤施設有効利用の促進を図る。</p> <p>⑥新任教職員を対象に、校長、部長、主事、学科主任がそれぞれ「新任者研修」を行う。</p> <p>⑦本校の将来構想に基づき、業務運営の効率化を推進しながら、人員の適正配置を検討する。</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①機構が発信する情報に基づき、業務の効率化を検討、推進した。</p> <p>②外部資金の公募情報等をHPを通じて学内教員へ速やかに周知すると共に、科学研究費補助金の説明会を、6月9日に日本学術振興会から講師を招聘して実施した。また、地域連携アドバイザーのサポートや外部資金獲得実績等を勘案した研究費の傾斜配分を実施した。</p> <p>③業務の見直しを推進する上で、各係の事務分掌等の精査を行った。</p> <p>④平成23年度計画に基づき、男子寮空調用電源工事とクラブハウス新設工事を実施した。ライフラインの再生整備として、トータルコストの試算を踏まえ、概算要求に向け準備を始めた。 ・アンケート結果と現状設備を分析の上、既存女子トイレの改修の平成24年度営繕要求を行った。</p> <p>⑤昨年の利用状況調査の分析を行い、概ね有効利用されていることが確認された。</p> <p>⑥年度計画どおり、それぞれの担当者が新任者研修を実施した。</p> <p>⑦本校の将来構想を達成できるようにそれぞれの業務改善目標を立て、さらに業務運営の効率化を推進するための職員の採用・異動を行った。</p>
<p>【6. その他】</p>	<p>①50周年記念事業に向け、鋭意取り組む。</p> <p>②三高専(阿南、高知、新居浜)連携による合同事業を検討・推進する。</p>	<p>①創立50周年記念事業実施本部の下に、募金活動、50周年誌の編纂作業を行った。平成23年12月10日講演会、平成24年4月21日記念式典、講演会、平成24年10月6日～7日を期間とした「あかがね工業博2012」等の事業内容が確定した。また、広報の一環として垂れ幕を設置した。</p> <p>②新居浜、阿南、高知の三高専が徳島三好地区で、また新居浜、高知の2高専が宇和島地区でそれぞれ合同入試を実施した。</p>